

トランプ氏就任と
世界情勢を考える

岐阜・九条の会

ドナルド・トランプ氏が米国大統領に就任した後の、世界情勢を考える「岐阜・九条の会」の意見交換会が十七日、岐阜市美江寺町一の岐阜合同法律事務所で開催された。写真。

会は月二回、平和に関するテーマで専門家から意見を聞く「サロン九条」を開いている。この日は「トランプのアメリカとどう向き合ったらいいのか？」をテーマに、元岐阜大教授で、会代表世話人の吉田千秋さん（七）が講演した。

吉田さんはトランプ氏が米大統領選で勝利した理由や新政権の閣僚の特徴などを説明。さらにメキシコ国境への壁の建設発言や、イギリスの欧州連合（E



U) 離脱などを例に、世界で排外主義や自国中心主義の流れが強まっていると指摘。「戦争や紛争につながる危険がある。それぞれの国で排外主義への対応を協議する必要がある」などと話した。

(下條大樹)